

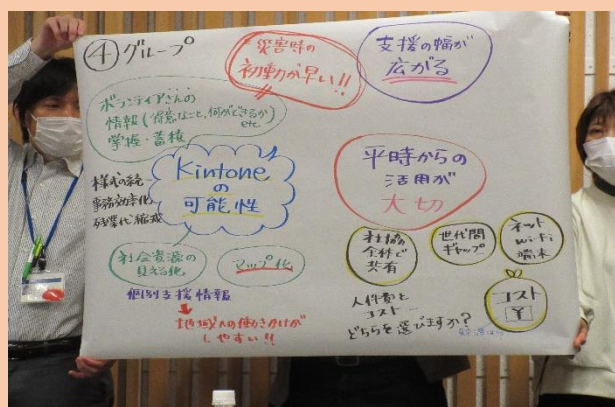
令和4年11月24日(木)・同25日(金) 奈良市・倉敷市・高知市 社会福祉協議会 合同研修会を実施



令和2年度に締結した三市社協による災害時等支援協定に基づき、今年度の合同研修会を、東大寺総合文化センター金鐘会館小ホールにて実施しました。講師にオフィス園崎 代表 園崎秀治氏をお招きし、1日目は「災害時における社協の役割と相互支援」「災害支援における情報共有・ICTの重要性」について講義をしていただき、災害時支援における経験の有無や役職・役割に関わらず、改めてその重要性を学び、協定の前提となる各社協の共通認識として確認することができました。また、昨年度協定を締結した福井市・岐阜市の両社協職員にもオンラインで参加いただき、同様に災害時支援における基本的な社協の在り方やICT活用に向けた考え方などを共有することに加え、5市社協の関係を構築するきっかけづくりになりました。

2日目は、災害時やそれ以外における社協業務へのICT活用の可能性について、現状や今後の在り方をグループワーク形式で検討しました。それぞれの社協におけるICT活用の現状や課題を共有し、その対応策等を検討し合うことに加え、手段としてのICT活用、その先にある目的等を話し合うことで、社協活動における今後のICTの在り方を考える機会となりました。

2日間の研修をととして、対面により顔の見える環境において職員同士がつながりを深めるとともに、災害時における役割や相互支援の重要性を学ぶことで、社協同士が同じ意識をもって協力し合える関係性を築くことができ、また、通常業務においても互いの社協における取り組みを共有し学び合うことができました。なお、今年度の研修で、倉敷・高知との協定における合同研修は一巡し新たなステージの取り組みを進める予定です。また、福井・岐阜との合同研修も継続して実施していく予定です。災害時を含めて、必要な際に助け合うことはもちろん、通常業務においてもそれぞれの社協の特徴を意識し高め合うことで、自社協の強化につなげるとともに、県をまたいだ相互支援という新たな仕組みで、社協そのものの存在意義を高めていきたいと考えています。



日時：令和4年11月24日 14時～17時15分
11月25日 9時～12時30分
場所：東大寺総合文化センター金鐘会館
講師：オフィス園崎 代表 園崎秀治氏
参加：倉敷市社協8名
高知市社協6名
福井市社協6名（オンライン）
岐阜市社協10名（オンライン）
奈良市社協19名
奈良県社協1名 合計50名